



なかがわばんしょあと ①【中川番所跡】

寛文元年(1661)から明治2年 (1869)までこの場所に置かれていた川 の関所で、小名木川を航行する船を取り締 まっていました。

「江戸名所図会 中川口」 (江東区教育委員会所蔵)



こやすじんじゃあとこうしんどう (子安神社跡庚申堂)

昭和20年3月の東京大空襲で社殿を焼失 し、東大島神社に合祀された子安神社の跡 地に建てられています。

大島3-21-9



ぉょぎがわ ②【小名木川しおのみち】

小名木川は、江戸時代から行徳の塩を江戸 に運ぶ水路として使われていました。現在 では番所橋と丸八橋の間が遊歩道として整 備されています。



ひがしおおじまじんじゃ (6) 【東大鳥神汁】

戦災で焼失した五つの神社を統合して昭和 24年に建てられた神社で、境内には旧五 社の鳥居や石像物などが置かれています。

大島7-24-1



ほうとうじ しお じぞう ③【宝塔寺 塩なめ地蔵】

塩なめ地蔵は、江戸時代に小名木川を往来する商人たちが、航行の安全を祈るために建てたといわれており、今でも昔と同じように、塩がお供えされています。

大島8-38-32



みなみほんじょうしじまじんじゃあとせきひ (7)【南本所牛島神汁跡石碑】

昭和20年3月の東京大空襲で社殿を焼失したため、現在は東大島神社に合祀され、大島・小松川公園スポーツ広場の中に跡地であることを示す石碑が建てられています。

大島9-8



おおじまいなりじんじゃ
 ④【大島稲荷神社】

江戸時代から大島町の鎮守として祀られていた神社です。松尾芭蕉にもゆかりのある神社で、境内には句を彫った女木塚(おなぎづか)や芭蕉の像があります。

大島5-39-26



きゅうこまつがわこうもん

旧中川・小名木川と荒川の水位の差を調節するために昭和2年(1927)につくられた水門で、一部が大島・小松川公園内に保存されています。